

令和6年度 実績報告書

浜松海の星幼稚園

1 全般状況

今年度も、今の社会の実情・保護者の方の要望・地域のニーズなどを考慮し、カトリック幼稚園としてどうあったらよいかを話し合いながら全事業を進めました。

2 浜松海の星幼稚園の概要

(1) 今年度の事業概要

・大きな事業はなし

(2) 設置する幼稚園の課程、定員、修業年限等

(ア) 入園定員等

年次別	保育年限	定員	利用定員	学級数	入園資格
満3歳児	4年	60名	24名	1	年度中に3歳の誕生日を迎える2歳児より受入
3歳児	3年		50名	2	満3歳～満4歳未満の幼児
4歳児	2年	70名	50名	2	満4歳～満5歳未満の幼児
5歳児	1年	70名	50名	2	満5歳～入学始期に達する幼児
計		200名	174名	7	

(イ) 園児数の状況

令和7年3月31日現在

学年	定員	利用定員	園児現員	備考
満3歳児	60名	24名	19名	2歳児より受入
3歳児		50名	39名	年度当初入園者43名
4歳児	70名	50名	29名	年度当初入園者28名
5歳児	70名	50名	51名	年度当初入園者51名
計	200名	174名	138名	

(ウ) 教職員の概要

令和7年3月31日現在

区 分	常 勤	非常勤	計
園 長	1		1
教諭・講師	9		9
講師(英語含む)		10	10
事務・職員		5	5
教職員計	10	15	25

3 事業の概要

(1) 保護者との関係において

- ・今年度も連絡アプリの「おうちえん」を使い、行事や普段の様子を写真や動画を入れて配信しました。また、行事一つひとつに対して、丁寧に園の思いや子どもの育ちを伝え、行事の後に保護者アンケートも実施しました。このように教育の見える化を進める中、年度末の教育アンケートでも、保護者の方が園と同じ思いで子どもたちを見守ってくださっていると感じられる結果となりました。

(2) 地域への幼稚園開放の推進(つぼみっこ、こひつじサークル、誰でも通園制度)

- ・未就園児親子対象の幼稚園開放「つぼみっこ」については、昨年度より登録数が伸び悩んでいます。浜松市の出生数が減少しており、その影響を受けていると考えられます。入園に繋がる要素も含んだ子育て支援の場であり、ホームページやインスタでの発信など今後も工夫していきたいと考えています。
- ・0歳から利用可能な「こひつじサークル」については、毎回、10組前後の利用者があり、幼稚園見学や満三歳児クラスの説明などの時間も設け、つぼみっこや満三歳児クラス入園に繋がるよう工夫をしました。
- ・今年度は、国が行う「誰でも通園制度」実施(令和8年度より本格的実施)にあたっての試行事業に参加しました。利用者は少なかったものの、今後給付化される事業の予定なので、実施に当たって当園としても考えていきたいと思えます。

(3) 様々な交流(小学校との連携、浜松聖星高校との交流、自治会行事への参加)

- ・今年度も、園から小学校に希望を出し、小学校参観や意見交換会などを実施させていただきました。今後も、幼小連携を大切に考えていきたいと思っています。
- ・今年度も、長期休業中の預かり保育中に、聖星高校の生徒さんの保育体験の受け入れや部活動とのコラボレーション企画を行い、生徒さんにも園児にも良い体験となりました。また、幼稚園まつりの生徒さんの手伝い、体育祭の園児の見学、高校のランタンイベントへの参加など、様々な交流ができました。今後も、教育の特徴の一つとして大切にしていきたいと考えています。
- ・今年度、初めて自治会の行事に年長児が参加させていただき、運動会で行ったダンスを披露しました。今後も、自治会との繋がりも大事にしていきたいと思えます。

(4) 保育者としての資質向上

- ・シスターに関わっていただきながら、マリア祭やクリスマス会などカトリック幼稚園の行事を通して、子どもたちの心の育ちを大切にしました。
- ・今年度も研修リーダー中心にごっこ遊びの研究を深め、ごっこ遊び当日は保護者の方以外に高校、他園の先生、地域の方(自治会)に感想をいただき、保育者の資質向上に繋がりました。

(5)その他

・発達に関し、毎月来ていただいている臨床心理士の桐生先生の力を借りながら、保護者の方との連携を密にし、一人ひとりの子どもたちとの丁寧な関わりに心掛けています。また、保育者自身の子どもを見る目を養うために、保育者に対して事例検討会を実施していただいています。